


2019年度「オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業」 事業実施報告書

- I スポーツ及びオリンピック、パラリンピックの意義や歴史に関する学び
 II マナーとおもてなしの心を備えたボランティアの育成
 III スポーツを通じたインクルーシブな社会（共生社会）の構築
 IV 日本の伝統、郷土の文化や世界の文化の理解、多様性を尊重する態度の育成
 V スポーツに対する興味・関心の向上、スポーツを楽しむ心の育成

道府県・政令市名【 茨城県 】

学校名【 坂東市立逆井山小学校 】

1 実践テーマ	I・III・V
2 実施対象者 (学年・人数)	坂東市立逆井山小学校 1～6年生 225名 職員 20名 保護者10名 合計 255名
3 展開の形式	(1) 学校における活動 ① 教科名 (体育・道徳・総合的な学習の時間) ② 行事名 () ③ その他 () (2) 地域における活動 ① イベント名 () ② その他 ()
4 目 標 (ねらい)	・体験活動を通して、障害のある方とともに生きるインクルーシブな社会（共生社会）について考え、夢や目標をもって生きていこうとする意欲と態度を養う。 ・障害者スポーツに対する興味・関心を高め、生涯を通じてスポーツを楽しむ心の育成を図る。
5 取組内容	1. 国際パラリンピック委員会公認教材を活用した事前学習 (1) 「パラリンピックってなんだろう」 国際パラリンピック委員会公認教材「I'm POSSIBLE」を活用し、オリンピック・パラリンピックの意義や歴史について学習した。 <div style="text-align: center;">  </div> <p style="text-align: center;">【学習の様子】</p> (2) 「パラリンピアン香西選手ってどんな人だろう？」 車いすバスケットボール日本代表選手香西宏昭選手がどのようにして日本代表になったのかについて学習した。

2. パラリンピック種目体験

(1) ボッチャ体験（5年生児童）

- ① 講師：境特別支援学校 教諭1名
- ② 内容：ボッチャの紹介
（競技で使用する道具の紹介及びルールの説明）
ボッチャの体験
- ③ 実施日：令和元年11月18日（月）



【体験活動の様子】

(2) 車いすバスケットボール体験・見学（1・2・5・6年生）

- ① 講師：車いすバスケットボールチーム
「Tochigi レイカーズ」選手4名
- ② 内容：車いすバスケットボール選手による講話・実演
車いすバスケットボールの体験
- ③ 実施日：12月16日（月）





【体験活動の様子】

3. 学校図書館に「オリンピック・パラリンピックコーナー」を設置し、全校児童が自由に閲覧した。



6 主な成果

- ・オリンピック・パラリンピックの意義や歴史について理解し、興味・関心を高めることができた。
- ・パラリンピアン香西宏昭選手の映像や資料を使って、障害があっても、できることに全力で取り組む「勇気」と「強い意志」の大切さを学んだ。車いすバスケットボールの映像を見て、車いすバスケットボールを「やってみたい」という児童の気持ち

	<p>が高まった。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・児童は、ボッチャ体験を通して、楽しさや奥深さを感じることができた。また、障害のある方とともに一緒にできるスポーツであることを学んだ。 <div> <div> <p>1. ボッチャを体験した感想を書こう。</p> <p>教えてもらった方のおかげで、ジャンクボールの近くにボールを置かせてくれました。自分がかけるわくの外に飛べないという点も分かりました。わくにでないとボールをかけるのはとてもおもしろかったです。まよふか不自由な人はわたしたちがやるよりもボールを思うように投げられないのかなと思いました。</p> </div> <div> <p>1. ボッチャを体験した感想を書こう。</p> <p>ボッチャを体験してボッチャは障害者向けのスポーツだけでなく健康者の大人も楽しめる競技だと思いました。ましてボールをあてたり、数が少ないとあてづらかったり、工夫ができるのもいいなと感じました。</p> </div> </div> <ul style="list-style-type: none"> ・車いすバスケットボール体験を通して、車いすを操作しながらバスケットを行う難しさを痛感した。また、講師の方の言葉に感銘を受け、夢や希望をもって生きる意欲と態度を養った。 <div> <div> <p>1. 「車いすバスケット」を体験した感想を書こう。</p> <p>「車いすバスケット」をしている人はいろいろな思いを抱えてバスケットをしている。車いすバスケットをしている人はきちんと夢をもって「もう一度」と思っても夢をあきらめずに最後までやるという気持ちで車いすバスケットをしていると分かりました。</p>  </div> <div> <p>1. 「車いすバスケット」を体験した感想を書こう。</p> <p>車いすバスケットは、うしろからいって逆めをいける。私もみんなのようになれたらとてもうれしい。そして最後は話してくれたお姉さんの話を聞いて夢という言葉がいてそして自分の夢をもってそれにいっていこうと思います。</p>  </div> </div> <ul style="list-style-type: none"> ・図書室に特設コーナーを設置したことで、オリンピック・パラリンピックへの興味・関心を高めることができた。 ・アンケート結果 調査日：9月6日、12月18日 2回の調査変化を示す。 調査対象：第5学年 調査人数：38人＊4点満点 (1) オリンピック・パラリンピックに興味がありますか。 実施前(8月20日) 2.4→実施後(12月18日) 3.1 (2) お年寄りや障害のある方と交流したいと思いませんか。 実施前(8月20日) 2.7→実施後(12月18日) 3.1 推進事業の実施前後のアンケート結果を見ると、児童のオリンピックやパラリンピックに対する興味・関心が高まった。また、お年寄りや障害のある方への興味・関心も高まった。
7 実践において工夫した点(事業の特色)	<ul style="list-style-type: none"> ・パラリンピック競技種目を体験することで、障害のある方の努力や苦労を感じることができた。 ・国際パラリンピック委員会公認教材のワークシートや資料映像を活用することで、オリンピックやパラリンピックへの知識理解や興味・関心を高めることができた。
8 主な課題等	<ul style="list-style-type: none"> ・教職員に「オリンピック・パラリンピック教育推進事業」の意義や国際パラリンピック委員会公認教材「I'm POSSIBLE」の理解などの事前研修を行い、学校全体での事業への意識共有を図る必要があった。 ・単発の行事にならないよう今後の教育活動へのつながりを考えたい。
9 来年度以降の実施予定	<ul style="list-style-type: none"> ・本校の総合的な学習の時間に位置づけてある「福祉教育」と関連づけ、障害者スポーツについての学習を取り入れる。 ・オリンピックやパラリンピックについての図書を活用し、スポーツの素晴らしさや共生社会の実現に向けた学習を実施する。